

シチリア州 Sicilia

シチリアは 6000 年前からワインを作っていたのかも?!



シチリアの歴史

BC1100 以上前からシケリア(シチリア島)には3種の先住民族がいる

シカニ人(またはシカノイ人)シチリア島中央に住んで、最も古くから住んでいた
シケル人(またはシケロイ人)は、シチリア島西側に住んでいた
=>シケリアの名前は、シケル人に由来

エリミ人(またはエリモイ人)は、シチリア島東側に住んでいた



BC1100-BC1000

フェニキヤ人がマルサラ近くの西シチリアに定住し、ワイン醸造とブドウ栽培の知識をもたらしシチリア初ワインの誕生

BC800-BC700

ギリシャ人がブドウ栽培とワイン醸造の専門知識をもたらしワイン作りを体系的な方法を開発し、それを東シチリアの海岸に持ち込んだ。

BC700-241BC

シチリアはギリシャ帝国中のワインと食べ物で有名。ギリシャの詩人ホメロスでさえ、彼の叙事詩「オデュッセイア」の中で、シチリアでブドウを栽培し、素晴らしいワインを作ることがいかに簡単であったかを書いてギリシャ人はオエノトリア Oenotria(あるいはエノトリア Enotria)と呼んだ。

BC241-440 年 (BC52 年 **ジュリアス・シーザーがガリア(ヨーロッパ各地)へ遠征、ローマの属州にした**)

カルタゴを破った**ローマ**がシチリアを支配下でローマの穀倉とワイン店としてシチリアワインはローマ帝国中に拡散

535 年-1861 年 (相次ぐ侵略者による支配の時代)

ヴァンダル王国(ゲルマン民族の一派)→535 年**東ローマ帝国(ビザンツ)**→827 年**イスラム教徒(ムーア人)**→1130 年**シチリア王国(ノルマン朝)**→1194 年**神聖ローマ帝国(カール大帝、ハプスブルク家)**→1268 年**ナポリ王国(ブルボン家(フランス))**→1282 年**アラゴン王(ナポリ王国から分離したスペイン)**→1504 年**ナポリ王国(アラゴン王がフランスナポリ王国を征服しナポリとシチリアを統一)**→1734 年**両シチリア王国(ハプスブルク家が支配)**→1861 年**イタリア統一**までとあらゆる人々がシチリアを支配。この無数の文化がシチリアの言語、食べ物、文化に影響を与え。

※カンノーリやカッサータなどのデザートはアラブ支配の時代、クスクスは、北アフリカの影響。

1770 年

イギリス人で英国の起業家であるジョン・ウッドハウスはマルサラでの高品質の酒精強化ワインの可能性を見出し、業界の拡大。1805 年には、トーマス・ジェファーソンが自宅用に 100 ガロン以上を購入し、「素晴らしいワインであり、価値がある」と述べ、**マルサラで大儲けした**

1800 年代 / 1900 年代前半

地元のシチリアのワイナリーは芽を出し始めるが、その直後フィロキセラの打撃を受け、畑は荒廃。シチリアワイン全体の品質は低下し、第二次世界大戦の開始と相まって、シチリアのワイン産業は大打撃。

1960 年-1980 年代

ブドウ栽培者の多くは、質より量を重視していた大規模な協同組合にブドウを販売し、大量生産された安価なワインが急増し、イタリアやヨーロッパ中で低価格で販売。

1980 年代以降

ディエゴ・プラネタ、ジャコモ・タキス、マルコ・デ・バルトリなど多くの大手ワインメーカーは大量輸出よりも品質を追求。シチリア島でボトリングが増加し、低収量、高品質のワインに転換、評判も高まった。

1990 年代-2000 年代

家族経営で質の高いワイン造りが主流になり、**シャルドネ、カベルネ、メルロー**といった**国際品種が台頭し**、土着品種は二の次に。しかし、高品質のワインは国際的な注目に

2000 年代前半

ネレロ・マスカレーゼやカリカンテなど、地元のブドウを使った**エトナワイン**が国際的に認められ、生産者たちは土着品種が国際的に受け入れられる可能性があることに気づき、土着品種に目を向けるようになりました。

2011 年

Sicilia DOC の設立により、生産者はさらに大量生産から高品質のワインへと移行する。

2020 年代(今日)

国際品種が高品質のワインを造る一方で、**土着品種がより注目。**

参考文献: WineFolly

シチリア島の面積: 25,420 km²
九州の約 64%
四国の約 1.4 倍

気候は地中海性気候

